



## 基本 施策評価表 補表

施策	22 生活環境の充実		
区分	妥当性	妥当	施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	コスト削減のため、効率的な維持管理につとめる。
	受益者負担	適正	受益者負担については、適正である。
	上位貢献度	有効	施策の目的を達成するために有効である。
	類似事業の有無	無	代替事業はない。
	成果向上の余地	有	適切な事業実施により、適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくりを進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。	
	達成状況	「5つ中3つの成果指標に市民満足度が設定されているが、5年に一度の指標では、達成状況を毎年評価することは出来ず、客観的評価できる指標の設定を望む」とのご指摘については、施策の実現・達成状態をわかりやすく的確に把握することができる指標について、次期指標設定時に検討したい。トイレの洋式化については、公園施設の2箇所を実施した。公園への健康遊具の設置、新墓地への樹木葬等への対応については、市民ニーズを慎重に判断し検討を継続する。また、空き家政策についての、費用対効果の検証を継続する。	
	課題	施設等の整備や適正な維持管理に長期的に努めていく必要がある。	
	取組方針	道路・公園・市営住宅施設等の老朽化状況等などの現状把握及び空き家等の情報収集に努め、計画的な整備・補修・管理を実施する。 また、新斎場については、早期供用開始を目指し、事業関連事務を推進する。	